

10 その他

(1) 原油価格の推移と県内のガソリン価格、灯油価格の推移

原油価格の国際指標価格であるWTI原油先物価格の推移をみると、1990年代は1バレル = 20ドル前後で安定的に推移した後、2000年(平成12年)以降30ドル前後で推移したが2004年(平成16年)に入り急騰し、2005年(平成17年)には60ドルを突破し高止まりの状況が続いている。また、ドバイ原油もWTIに比べ低い水準だが、平成17年3月には40ドルを超え、平成17年6月以降50ドル台で推移している(図71)。

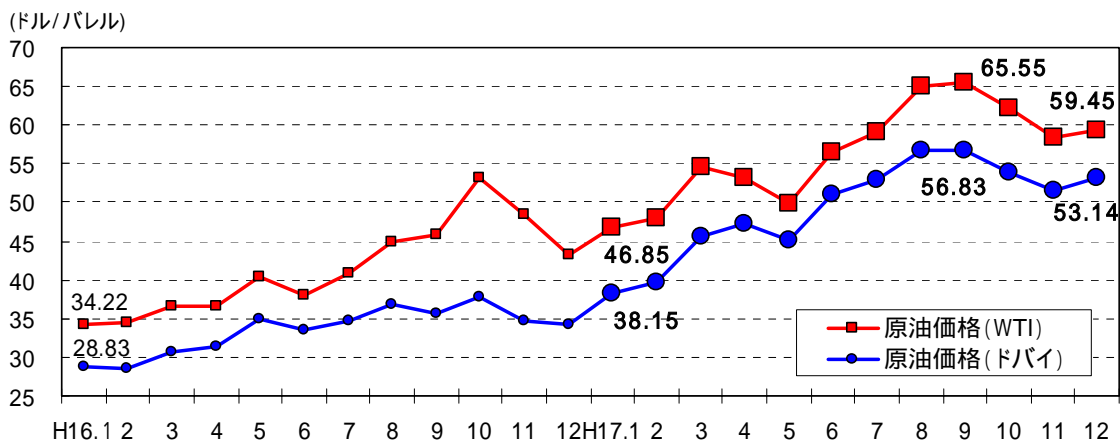
平成17年の福島県内のガソリン価格の推移をみると、レギュラーガソリンについては、原油価格の高騰がガソリン価格へ転嫁されて上昇を続け、年末には1リットル = 130円前後で推移し、高止まりの状況が続いた。

ハイオクガソリンについてもレギュラーガソリンと同様に上昇を続け、年末には1リットル = 140円を超えている(図72)。

平成17年の福島県内の灯油価格の推移をみると、ガソリン価格と同様に原油価格の高騰が灯油価格へ転嫁されて上昇を続け、10月には店頭価格が18リットル = 1,210円、配達価格は1,311円となり、その後年末にかけても高止まりの状況が続いた(図73)。

【 原油価格の推移 】

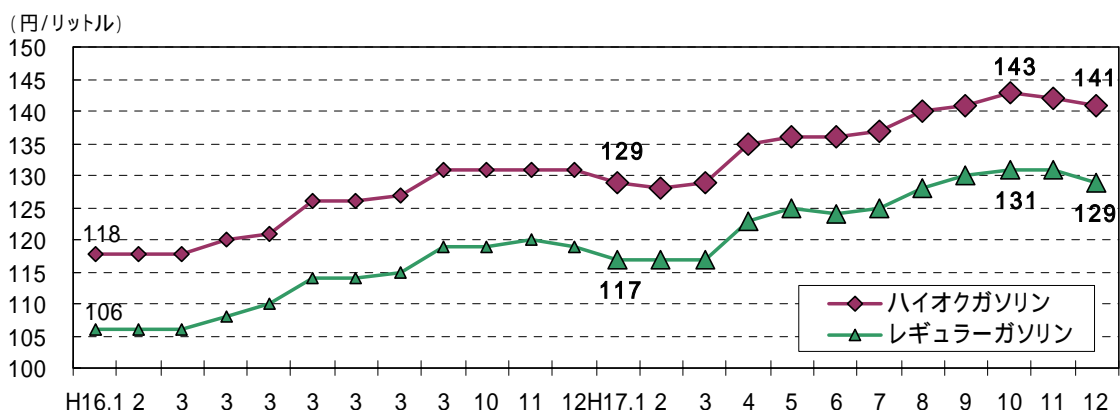
図71 原油価格(WTI及びドバイ)



備考 1 (資料:日本経済新聞より作成)

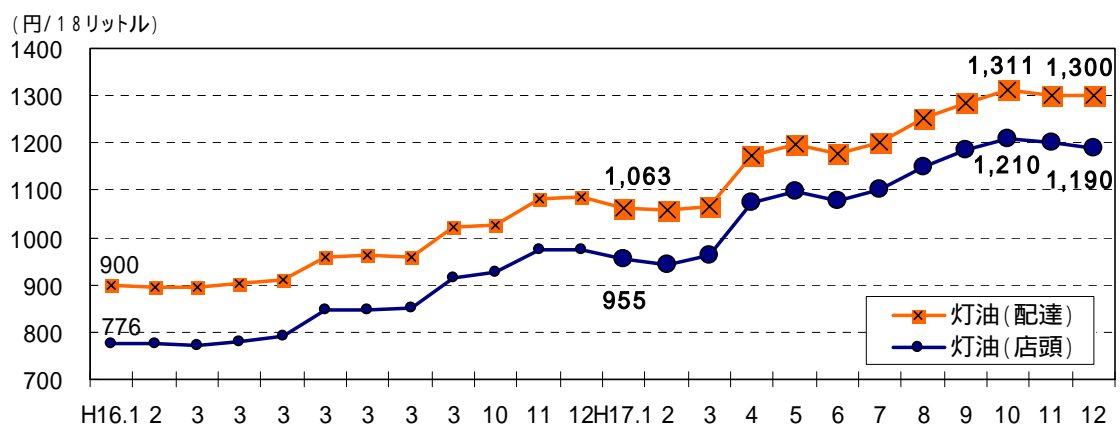
【 県内のガソリン価格及び灯油価格の推移 】

図72 県内ガソリン価格



備考 1 (資料:石油情報センター「給油所石油製品市況調査」より作成)

図73 県内灯油価格



備考 1 (資料:石油情報センター「給油所石油製品市況調査」より作成)